

「地域と協同の研究センター主催パネルディスカッション」開催のご案内

= 生産と消費をつなぐ =

ファーマーズマーケットを通して あらためて、食と農のつながりを考える

ファーマーズマーケットのトップランナー3 名をお迎えしてのパネルディスカッション

★★パネリスト

山口 清隆 氏 (やまぐち・きよたか)
JA あぐりタウンげんきの郷 (株) げんきの郷 代表取締役社長

吉野 隆子 氏 (よしの・たかこ)
オーガニックファーマーズ朝市村 村長

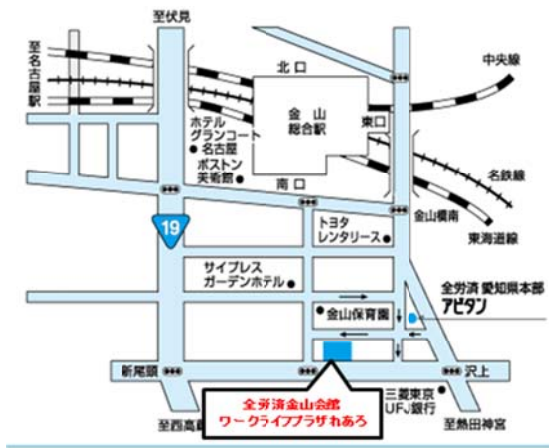
岩森 政明 氏 (いわもり・まさあき)
ベルファーム農家市場 (株) 松阪協働ファーム 代表取締役社長

★★コーディネーター

大原 興太郎 氏 (おおはら・こうたろう)
三重大学名誉教授・地域と協同の研究センター理事

- 開催日時 7月27日(金) 14:00~16:30 (開場 13:30)
- 会場 全労済金山会館ワークライフプラザれある 6階大会議室
※名古屋市熱田区金山町一丁目 14-18
- 参加対象 研究センター会員および一般の方 (定員 50 名)
- 参加費 無料 ※お申込みは裏面の要綱で地域と協同の研究センターまで

【会場案内】



〒456-0002 名古屋市熱田区金山町1丁目14-18

7月18日(水)を目安にお申込み下さい。

※尚、定員を超えた場合は先着順になる場合もあることご了承ください。

【主催】

NPO 法人 地域と協同の研究センター
 研究フォーラム食と農世話人会
 〒464-0824 名古屋市千種区稲舟通 1-39
 Phone 052-781-8280
 fax 052-781-8315

ファーマーズマーケットのトップランナー3名をお迎えしてのパネルディスカッション

げんきの郷 JAが経営する 200 万人を超える集客を誇る日本最大規模のファーマーズマーケット「げんきの郷」。消費者の産直、地産地消に寄せる期待をつかみ、その大きな販売力を生かし担い手としての農業者を育てています。何故JAがこうした大きな事業に取組み成功させることが出来たのでしょうか。



オーガニックファーマーズ朝市村は、毎週土曜日朝市を開催、有機・自然農法にこだわった農業者が、安心でおいしい野菜や米、くだもの、農産加工品を持って集まります。新規就農者の支援にも力を入れています。有機自然農法へのこだわり、集まる生産者は何を魅力に集まるのでしょうか、また何故新規就農者を生み出すことができるのでしょうか。



ベルファーム農家市場は松阪市が運営する農業公園の指定管理者として株式会社松阪協働ファームが運営、食育の発信基地として、新鮮で栄養豊富な地元野菜や県内で水揚げされた魚介類などを直売しています。行政から民間に移管した効果は、食育は、どのように進めているのでしょうか。



皆さんに共通する思いは「日本の農業を元気に！」です。夫々の立場からこれまでの実践例をお話し頂き、あらためて、食と農のつながりを考えます。

研究センターパネルディスカッション申込み

=生産と消費をつなぐ=ファーマーズマーケットを通して あらためて、食と農のつながりを考える

お名前			
ご連絡先		お住まい・参加団体など	

※頂戴した個人情報「本企画」の運営に限って使用します。

※切：7月18日(水) FAX：052-781-8315 e-mail AEL03416@nifty.com